

2024 年度 第 3 回 南の星小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024 年 12 月 9 日（月）10 時 00 分～11 時 30 分まで
- 2 開催場所 南の星小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木美佐男、小林睦夫、井口裕士、佐藤政美、大石わかな、
BAMBANG HARIANTO、HASHIMOTO IZABELA
- 4 欠席委員 原川 翼、佐藤友美、鈴木アリネ
- 5 オブザーバー 中村優作（五島協働センター所長）
- 6 学校 竹村元清（校長）、古橋水無（教頭）、川本仁美（CS 担当教職員）、
井上美和（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議記録作成者 CS ディレクター 井上美和
- 10 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、小林委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項
（１）外部人材の募集・運用の方策について
- 12 会議記録
司会から、委員総数 10 人のうち 7 名の出席があり過半数に達している為、会議が成立している旨の報告があった。

○本年度の取り組みと学校の様子への報告

議長の指示により、校長から学校運営の取り組みについて、配布資料を元に以下の説明があった。

・質の高い学び合いをするためには色々な人との「豊かな関わり合い」が大切。人間としての幅も広げられればよいと考え、外部講師の方を招いてお話を伺う機会など積極的に設けている。

- ・全国学力調査及び生活質問紙の結果について。
- ・いじめ・問題行動についての本校の取り組みについて。

委員から以下の意見があった。

・学校の雰囲気が良い。いじめのことや学力については今後もよくなり、不登校の子も無くなると思う。学校はよくやってくれていると思う。算数はしっかり今後も学習して欲しい。（バンバン委員）

・自己肯定感が非常に高いのはいいことだが算数のレベルが全国的に悪い。学力が低いレベルにある状態に子供たちが納得してしまっている為、学力の低さに対して自己肯定感が高いといったギャップが生じているのではないか。もっとやればできるといった子供たちの意識が今後高くなれば、その差も縮まってくるのではと感じている。
(小林委員)

(1) 外部人材の募集・運用の方策について

学校運営協議会として、今後具体的にどういうことができるか？この場で意見を話し合い、ご意見をいただきたい。(教頭)

学校としては新1年生対象に、給食開始後1週間程度の期間で、給食・下校ボランティアを今後募集したいと考えている。どのような方法で1年生の保護者に募集をしていけばよいか。(教頭)

委員から以下の意見があった。

- ・入学説明会で話すのはどうか。(五島協働センター 中村様)
- ・説明会の日に、授業参観の形で実際に給食の場面を見てもらうのはどうか？実際にどのような支援を行えばよいか具体的なイメージが持てるのではないか。(小林委員)
- ・幼稚園や保育園から小学校に入学してくる子が多い。ボランティアは必要なのか。(ハシモト委員)
- ・外国人の中で幼稚園や保育園に通わずに小学校に入学してくる子もいて、給食の準備など全然できない子がいる。(教頭)
- ・2,3人目の子はいいが、最初の子だと給食の準備等分らないことが多い。(ハシモト委員)
- ・ボランティアの募集は前もって言ってくれる方がいい。(ハシモト委員)
- ・親がボランティアでいたら甘えてしまって逆に自分でやらないと思う。(ハシモト委員)
- ・縦割り活動のように、6年生が1年生を見るのはどうか。(小林委員)
- ・親が手を貸しすぎてしまうのではないか。(大石委員)
- ・毎年募集をするとしたら、逆に学校側の負荷も大きくなるのではないか。(大石委員)
- ・登下校の見守りボランティアは、保護者や地域に募集を出すことは可能。地域には回覧板、保護者にはさくら連絡網などで募集をするといい。(小林委員)
- ・募集のかけかたはどういう感じがいいと思うか。(教頭)
- ・昔は、集団登校など子供たちのことでやれることは子供たちの中でやるということができていた。募集期間についても1日だけであればできると思うが、1週間

となると難しいのではないか。何でもかんでも周りの地域のお膳立てを求めるのではなく、学校の中でできることはやってみるということも大事なのではないか。（鈴木美佐男委員）

・学校に来る地域の人たちは減っていると感じる。学校行事などの中にもっと地域の人が入ってもらうことも必要。（鈴木美佐男委員）

・学校の中でやれることと地域に協力をお願いすることと、もう少し整理した方がよい。（鈴木美佐男委員）

・子供たちの自主性をもっと伸ばす為にボランティアに入ってもらうことで、自分でやれるきっかけを作ることに関がるとよい。（バンバン委員）

・何がなんでもボランティアというのではなく、困っている人がいたら手助けしてほしいということで、今回はミシンボランティアをお願いした。子供たちも手伝ってもらったことで、自分でもやれるという自信に関がった。（教頭）

・色々なご意見ありがとうございました。通学見守りの件など今後良い案があれば、電話でも次の会議でもご意見をいただければと思います。（小林委員）

※熟議終了

（２）連絡事項

令和６年度第４回学校運営協議会 予告

司会より、次回会議は２月１０日（月）１４時３０分～１６時、南の星小学校会議室で開催する旨の報告があった。

学校運営協議会自己評価用紙の実施について

司会より、配布資料にある自己評価用紙を１２月１９日締切で提出をお願いしたいとの発言があった。